



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 ワシントンホテル株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4691 URL <https://www.washingtonhotel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 和男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部部长 (氏名) 森 良一 (TEL) 052(745)9036
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,947	—	1,516	—	1,466	—	926	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 928百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	91.73	—
2019年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は2019年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年3月期第2四半期の数値及び前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	26,331	12,496	47.5
2019年3月期	25,131	11,729	46.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,496百万円 2019年3月期 11,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,234	3.8	2,565	△14.2	2,426	△14.5	1,727	1.4	158.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は【添付資料】8ページ「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	10,100,000株	2019年3月期	10,100,000株
2020年3月期2Q	4,850株	2019年3月期	4,850株
2020年3月期2Q	10,095,150株	2019年3月期2Q	10,095,150株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いているものの、海外においては米中貿易摩擦や日韓関係の悪化が長期化するなど、先行きは不透明な状況が続いております。

ホテル業界においては、人件費・原材料費といったコストの上昇、並びに地域によっては新設ホテルの著しい増加による供給過多に留意する必要があるものの、訪日外国人の増加、東京オリンピック・パラリンピックの開催などが今後も好影響を及ぼすものと考えられます。

このような環境下、当社は新規出店として、2019年6月に「R&Bホテル名古屋新幹線口」を開業いたしました。また、既存店の競争力向上のため、4月に飛騨高山ワシントンホテルプラザに大浴場を設置いたしましたほか、9月より高崎ワシントンホテルプラザのリニューアル工事を開始しております。

販売面のうち宿泊部門においては、最大の販売チャネルとなっている当社公式サイト「宿泊ネット」について、その使い勝手を向上させるためポイント交換単位を引き下げたほか、宿泊予約比較サイト(トラベルコ等)へ掲載し露出を増やしました。さらに「宿泊ネット」プレゼントキャンペーンを実施するなどして、販売増を図りました。また、外国人旅行者について、海外予約サイトの販売価格を見直したほか、プロジェクトチームを発足し国内外のリアルエージェントへの営業を強化いたしました。

飲食部門においては、お集まりが増加する夏休み・お盆の集客を図るため「笑顔集う夏のおもてなし」と銘打って、利用機会に即した推奨商品の開発・販売、期間中のレストランカードポイント加算アップをするなどの販売促進をおこないました。

これらの施策により売上の増加を図りましたが、台風や一部地域での供給過多の影響により、比較可能ベースでの売上は前期を僅かに下回りました。

また、経費面においては、人手不足による清掃費の上昇、並びに販売手数料などの運営コストが増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,947百万円、営業利益1,516百万円、経常利益1,466百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益926百万円となりました。なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,199百万円増加の26,331百万円となりました。これは主に現金及び預金が709百万円減少した一方、固定資産が1,820百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ432百万円増加の13,834百万円となりました。これは主に未払金が268百万円減少した一方、長期借入金が493百万円、資産除去債務が249百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ767百万円増加の12,496百万円となりました。これは主に剰余金の配当による減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年10月18日の「東京証券取引所、名古屋証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

当第2四半期連結累計期間の業績は、各段階利益において通期業績予想に対する進捗率が50%を上回る推移をしておりますが、下期において外形標準課税適用に伴う税金(約156百万円)や、高崎ワシントンホテルプラザのリニューアル費用(約110百万円)等のまとまった費用計上が控えていることから、据え置きといたしました。

なお、当該連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,187,981	2,478,721
売掛金	889,512	878,420
原材料及び貯蔵品	44,601	54,104
その他	522,650	612,863
流動資産合計	4,644,745	4,024,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,607,054	7,404,186
土地	5,511,837	5,540,337
リース資産(純額)	1,770,410	1,738,790
建設仮勘定	1,739,285	1,589,434
その他(純額)	283,978	324,409
有形固定資産合計	14,912,566	16,597,157
無形固定資産		
ソフトウェア	175,299	151,266
その他	25,541	31,149
無形固定資産合計	200,841	182,415
投資その他の資産		
投資有価証券	207,991	210,395
繰延税金資産	337,154	337,015
差入保証金	4,686,505	4,842,414
長期貸付金	1,260	1,080
その他	160,555	156,722
貸倒引当金	△19,650	△19,650
投資その他の資産合計	5,373,817	5,527,978
固定資産合計	20,487,225	22,307,552
資産合計	25,131,971	26,331,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	242,459	256,613
短期借入金	1,020,200	1,090,200
1年内返済予定の長期借入金	935,791	961,744
リース債務	39,544	40,299
未払金	1,146,935	878,033
未払法人税等	508,224	540,062
賞与引当金	163,069	183,877
役員賞与引当金	12,000	—
ポイント引当金	139,279	139,440
その他	782,060	625,505
流動負債合計	4,989,565	4,715,775
固定負債		
長期借入金	5,675,761	6,169,339
リース債務	2,061,133	2,040,793
繰延税金負債	1,297	1,297
再評価に係る繰延税金負債	421	421
未使用商品券等引当金	28,370	27,800
役員退職慰労引当金	37,740	37,740
資産除去債務	182,266	431,799
その他	425,797	409,709
固定負債合計	8,412,788	9,118,901
負債合計	13,402,354	13,834,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	95,000	95,000
資本剰余金	4,668,552	4,668,552
利益剰余金	7,927,754	8,692,282
自己株式	△1,293	△1,293
株主資本合計	12,690,013	13,454,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△792	1,650
繰延ヘッジ損益	△14,151	△13,752
土地再評価差額金	△945,452	△945,452
その他の包括利益累計額合計	△960,396	△957,554
純資産合計	11,729,617	12,496,986
負債純資産合計	25,131,971	26,331,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,947,824
売上原価	8,973,136
売上総利益	1,974,687
販売費及び一般管理費	458,613
営業利益	1,516,074
営業外収益	
受取手数料	4,033
受取保険料	3,497
その他	5,963
営業外収益合計	13,494
営業外費用	
支払利息	60,654
その他	2,153
営業外費用合計	62,808
経常利益	1,466,760
特別利益	
固定資産受贈益	3,341
特別利益合計	3,341
特別損失	
固定資産除却損	3,467
特別損失合計	3,467
税金等調整前四半期純利益	1,466,634
法人税等	540,584
四半期純利益	926,050
親会社株主に帰属する四半期純利益	926,050

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	926,050
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,442
繰延ヘッジ損益	398
その他の包括利益合計	2,841
四半期包括利益	928,891
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	928,891

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,466,634
減価償却費	324,282
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,808
受取利息及び受取配当金	△322
支払利息	60,654
固定資産除却損	3,467
売上債権の増減額 (△は増加)	11,091
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,503
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,153
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△108,108
未払金の増減額 (△は減少)	△164,751
未払費用の増減額 (△は減少)	12,494
その他	△181,719
小計	1,449,182
利息及び配当金の受取額	321
利息の支払額	△60,992
法人税等の支払額	△497,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	890,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,835,514
無形固定資産の取得による支出	△13,759
差入保証金の差入による支出	△158,049
差入保証金の回収による収入	849
その他	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,006,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	70,000
長期借入れによる収入	987,000
長期借入金の返済による支出	△467,469
配当金の支払額	△161,522
リース債務の返済による支出	△19,586
その他	△1,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	406,515
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△709,259
現金及び現金同等物の期首残高	3,109,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,400,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、重要な個別項目を調整した上で、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(公募による新株の発行)

当社は、2019年10月18日に東京証券取引所、名古屋証券取引所市場第二部に上場いたしました。上場に当たり、2019年9月11日及び2019年9月27日開催の取締役会において、以下のとおり新株式の発行を決議し、2019年10月17日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は95,000千円から1,185,575千円へ、資本準備金は2,500,000千円から3,590,575千円へ、発行済株式総数は10,100,000株から11,900,000株となりました。

1. 公募による新株の発行

(1) 募集方法 : 一般募集 (ブックビルディング方式による募集)

(2) 発行する株式の種類及び数 : 普通株式 1,800,000株

(3) 発行価格 : 1株につき1,310円

(4) 引受価額 : 1株につき1,211.75円

この金額は、当社が引受人より1株当たりの払込金として受け取った金額であります。

なお、発行価格と引受価額の差額は、引受人の手取金となります。

(5) 資本組入額 : 1株につき605.875円

(6) 発行価格の総額 : 2,358,000千円

(7) 引受価額の総額 : 2,181,150千円

(8) 資本組入額の総額 : 1,090,575千円

(9) 払込期日 : 2019年10月17日

2. 資金の用途

新規店舗の出店費用及び既存店舗のリニューアル費用に充当する予定でございます。